

令和8年度 大田市立大森小学校 学校経営基本構想

しまね教育振興ビジョン[R7-11]

- ・すべての子どもが学びの主人公
- ・実体験に根ざした本物の教育
- ・挑戦心、探究心が育つ学びの環境

大田市教育ビジョン 基本構想

わが里を誇り、大田と世界の未来を拓く

◇生き抜く力を育てる

多様で豊かな体験による確かな学力

/ 自立、共生する心 / たくましく健やかな体

◇「あるもの」を活かす

「自然、歴史、伝統・文化」の継承

/ ESD / 教育の魅力化

◇地域を支え、創る

子育てのとらえなおし / 学校・家庭・地域の協働

/ 担い手の育成

学校経営目標

3つのわ(輪・湧・和)のある学校

<めざす具体的な職員像、職場環境>

◇輪：地域の想いを受け止め、共に子どもを育てていく意識をもった職員

◇湧：自身の成長のため、主体的に学び、チャレンジしていく職員

◇和：思いを安心して伝えられ、困難を補い合える職場環境

地域の願い(学校運営協議会より)

<子どもに身につけてほしい具体的な力>

- ・自ら遊ぶ力
- ・人のことばを聞く力
- ・想像力(相手の気持ち、行動に伴う結果)



学校教育目標

「捉え、見極め、自ら動く」子どもの育成 ～日本で一番大森が好きな子どもに～

<めざす具体的な子ども像>

捉える : 情報を正確に捉えよう(聴く、視る、調べる)とする姿

見極める : 周りの人に思いをめぐらせ、最適解を考え追究していこうとする姿

自ら動く : 主体的に行動・表現・解決していこうとする姿

目標達成に向けた具体的取組

学ぶ力の育成

- ・言語活動の充実(聴く力の育成、表現モデル、まねっこ)
- ・単元を通じての確実な資質・能力の育成(単元構想)
- ・授業の学びとつながる家庭学習

探究的活動(ふるさと教育、ESD 含む)

- ・課題解決に向けた、探究的な学習過程の構築
- ・ふるさととのスペシャリストとの連携、交流
- ・体験活動の充実

情報活用能力の育成

- ・学校図書等の活用
- (読書、情報収集、思考ツールによる情報整理)
- ・個別最適、協働的な学びの推進(ICT活用)

豊かな心の育成

- ・人権感覚の醸成(いじめ未然防止への取組、理解教育)
- ・自己肯定感の育成(努力過程への賞賛、正義への承認)
- ・道徳教育の充実(多面的・多角的に考える学習)
- ・教育支援計画に沿った自立と社会参画への支援
- ・専門機関(スクールカウンセラー等)との連携

社会性の習得

- ・気持ちの良いあいさつ(相手よりも先に)
- ・子どもたちによる問題解決(トラブルを学びの機会に)
- ・自発的、自治的な委員会活動
- (現状と課題の把握、話し合い、取組実行、ふり返り)

健康的な体づくり

- ・新体力テストの結果を踏まえた体力向上策の実施
- ・専門家等による正しい知識の獲得
- ・自身の生活習慣の把握を通じての改善策の実施
- (生活シャキッと週間等…メディア、睡眠、朝食)

キャリア形成

- ・キャリア・パスポートの活用(目標設定、ふり返り)
- ・キャリア教育の視点を踏まえた教育活動の推進
- (見学先でのキャリア形成に係わる質問)
- ・保育園との連携強化(交流活動・職員研修)

教育環境づくり

教育活動を支える環境の整備

- ・家庭、地域との信頼関係づくり
- ・環境整備(安全の確保、ICT機器活用支援、作業効率化)
- ・目的に即した予算の確保、執行

職員の資質能力向上

- ・授業力、生徒指導力の向上
- (授業相互見学、速やかな情報共有)
- ・研修機会の確保
- (校内研修時間の確保、外部研修への参加促進)

職員の心身の健康保持・ウェルビーイングの向上と環境整備

- ・適切なワーク・ライフ・バランスの確保
- (具体的な取組と数値目標の設定、行事や会議の見直し)
- ・職員の健康管理
- ・共同の観点を取り入れた職場環境の改善